



新規モノクローナル抗体, 及びそのタグ抗体としての利用

浦野 健(医学部)

本研究に関連する特許

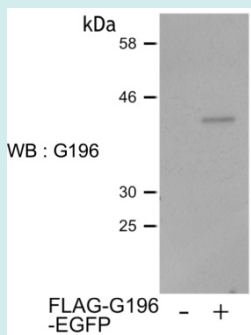
1) 特許5928734号

【概要】

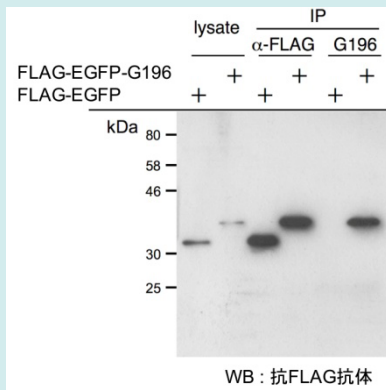
開発したモノクローナル抗体G196は、タグペプチドとの結合親和性が高いため、ウエスタンブロットが可能であり、かつバックグラウンドが非常に低い。さらに、効率のよい免疫沈降が可能である。またG196は、ヒト細胞に限定されず酵母でも使用できる。

新技術の特徴

バックグラウンドが低い
ウエスタンブロット

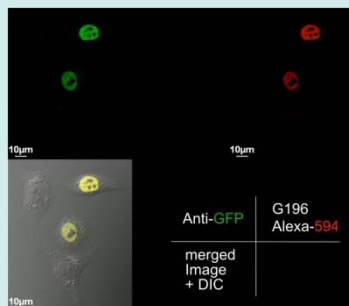


効率のよい
免疫沈降



(201710)

免疫細胞染色



従来のタグシステムの問題点

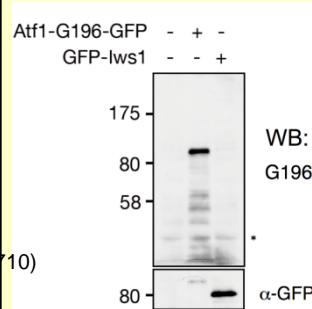
目的タンパク質の細胞内局在によって、抗体がタグ融合タンパク質を検出できないことがあった。

Tatsumi K., et al., Sci. Rep.7: 43480, 2017

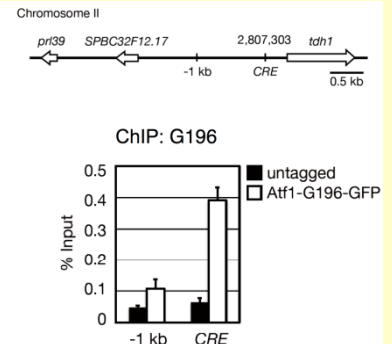
G196の優位性

G196はヒト細胞だけでなく、酵母でも使用できる！

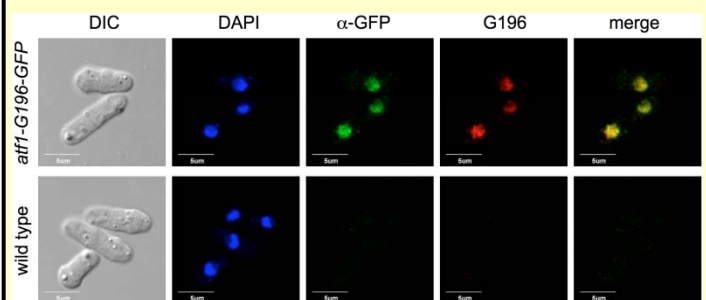
ウエスタンブロット



クロマチン免疫沈降



免疫細胞染色



Tatsumi K., et al., Sci. Rep.7: 43480, 2017

【応用例】

- ・分子生物学的手技において幅広く使用できるタグシステム
- ・標的遺伝子の前後にオリゴDNAを用いて簡単にタグ配列を挿入可能
- ・タンパク質の細胞内局在に関わらず、免疫細胞染色でも威力を発揮

【研究シーズ, 特許に関するお問い合わせ先】

島根大学 地域未来協創本部 地域医学共同研究部門

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町223-8

電話: 0853-20-2912 FAX: 0853-20-2913 電子メール: cmrc@med.shimane-u.ac.jp